

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	プロッサムジュニア大塚・帝京大学駅前教室		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・運動する場所と静かに遊んだり宿題に取り組んだりする場所が別れている。	・子どもたちにもわかりやすいように、職員が遊びの約束を伝えていている。 ・自由時間に使用するスペースにおいて、床にラインを貼ったり、絵で約束を掲示したりして子どもたちにも視覚的にわかりやすいようにしている。	・パーティション等も活用して、さらに個々のニーズに寄り添った環境づくりをする。
2	・休日や祝日の活動の充実。	・調理活動、外出活動、外食活動等の予定を立て、月予定として前月に保護者に配布し、いろいろな体験を提供できるよう心掛けています。	・さらに保護者のニーズと子どもたちのニーズの聞き取りを行い、立案していく。 ・地域施設の更なる開発を図る。
3	・集団療育と個別療育の両輪で子どもを支援している。	・個別支援計画に沿った個別療育の教材選出や集団活動での意図的グループ分け等により、それぞれのニーズに合わせた支援を心掛けています。 ・また、それぞれの取り組みの様子を強みや苦手等もふくめ、保護者に毎回伝えている。	・職員で多角的に子どもの様子を情報共有し、自由遊びの時間での療育的声掛け、アプローチの充実を図る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・職員間で話すことはあるが、全体ミーティングの機会がもう少し必要だと思われる。	・パート職員の出勤時刻が利用者の来所と同時刻になっている。 ・情報共有はあるものの、そこからどのように支援していくか、という形にまでできていない。	・パート職員の出勤時間の見直しをし、パート職員も含めたミーティング設定が必要。 ・終業前のその日の出勤者での振り返りミーティングの充実。(「今日どうだった」から、「次はどのように支援するとよい」の会話へ)
2	・職員研修の不十分さ、また、保護者にも研修を行っていることなど伝わっていない。	・研修の動画や課題提出で対応しているが、個々の管理把握が難しい。	・ジョブメドレーアカデミーの導入による研修と管理 ・お便り等での保護者への研修内容や終了の周知
3			